

合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調査

地区名：牟礼

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応方針
牟礼地区	1	効果的な介護予防事業の推進	<p>高齢化社会を迎え、これからは介護予防のための取組が重要である。このため、地域包括支援センター、保健センターが連携を図り、地域住民に参加を促す体制を強化されたい。</p> <p>現在、地域包括支援センターで、特定高齢者介護予防教室が週1回、保健センターでは、一般高齢者介護予防教室が月1回、その他、講演会、セミナー、講座等が開催されているが、どうも地域住民には、あまり伝わっていない。</p> <p>様々なプログラムづくりや、地域住民が積極的に参加できるよう、情報提供の充実はもちろんのこと、もっと積極的に地域に出て行き、効果的な介護予防事業の推進をされたい。</p>	健康福祉部	地域包括支援センター 保健センター	<p>地域包括支援センターでは、特定高齢者への介護予防教室を実施しています。平成21年度より、介護予防教室を介護予防サービス事業所に委託し、送迎を行うなど参加しやすい体制づくりを整えています。また、認知症になった人やその家族を見守り支えていく認知症サポーター養成講座を開催し、今年度は2,000人の養成を目標としており、地域住民の理解を深めることに取り組んでいます。今後も、出前講座の実施、パンフレットの作成・配布など普及啓発推進に努め、具体的にできめの細かな介護予防を推進してまいります。【地域包括支援センター】</p> <p>保健センターでは、一般高齢者（元気な高齢者）への介護予防教室の開催をはじめ、介護予防のための講演会、セミナー、講座等を開催して、地域住民に介護予防の普及啓発に取り組んでいます。平成20年度は、宮北公民館で介護予防教室を開催し、平成21年度からは、参加者主体で自主的に教室を継続しています。今後、保健委員会等地区組織との連携・協力のもと、住民の身近な場所へ向向いての介護予防教室の開催等、積極的な参加が得られるように介護予防の推進に取り組む予定です。また、地域包括支援センターとの連携を図り、効果的な介護予防事業への取組も含めて、体制整備をしてまいります。【保健センター】</p>
牟礼地区	2	高齢者、障がい者の地域生活支援の充実	<p>高齢者も障がい者も、自分が生まれ育った地域で暮らしたいと思っている人は多い。しかしながら、地域において、自立した生活を送るには、大変厳しい状況である。</p> <p>今後、在宅福祉サービスの充実を図っていく上からも、医療系サービスとの連携や情報提供体制等の強化を図るとともに、地域で支え合う体制の構築と、その人本位の在宅支援プランによる継続的な支援の充実を図られたい。</p> <p>また、市民への情報提供として、各地域で実践を重ねてきたサービス事業者の実践報告会等、もっと地域の住民に情報発信する場の提供もされたい。</p>	健康福祉部	介護保険課 障がい福祉課 長寿福祉課 地域包括支援センター	<p>高齢者も障がい者も安心して、住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるように、地域で支えあうまちづくりを推進する中で、高齢者や障がい者を含め、要介護者等に対して、各種計画に基づき、地域生活支援事業を実施すると同時に、出前講座や認知症サポーター養成講座等を通して、自治会等地域のボランティア組織、介護および福祉サービス事業者、医療機関等とのネットワークを構築し、地域に根ざした地域包括ケアシステムづくりに努めてまいります。</p> <p>また、地域密着型の小規模多機能型居宅介護事業所やグループホームでは、おおむね2か月に1度、利用者の家族、地域住民の代表者、地区民生委員等の参加のもと、それぞれの事業所における実践報告や改善課題を話し合う場が設けられ、意見交換が行われており、今後、他のサービス事業所に対しても、地域住民が参加する介護教室等で、介護の実践報告等も行うよう、働きかけてまいりたいと考えています。</p>
牟礼地区	3	小規模多機能、共生ケアの取組に対する支援	<p>これまでの福祉は、高齢者は高齢者だけ、障がい者は障がい者だけ、そして子どもは子どもだけと行政の縦割りによって分けられてきた。しかし、現在、住宅地の中にある民家を改造した小規模で家庭的な施設で、赤ちゃんからお年寄りまで障がいの有無にかかわらず受け入れるサービスが全国に広がっている。</p> <p>このような小規模多機能で共生型施設の整備や取組に対する支援を行われたい。</p>	健康福祉部	介護保険課	<p>介護保険制度においては、高齢者を、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援し、広く地域住民との交流の機会も提供するため、地域密着型サービスが実施されています。このサービスの代表的な施設として、「小規模多機能型居宅介護事業所」が、市内19の日常生活圏域のうち、15圏域において設置・運営されています。</p> <p>現在のところ、御提案の「支援」についての具体的な仕組みは考えておりませんが、今後も「小規模多機能型居宅介護事業所」など地域密着型の施設が未整備な圏域での公募・指定を推進し、これらの有効活用を図りながら、多様な福祉ニーズに適切に対応したいと考えています。</p>
牟礼地区	4	ごみの減量化・再利用・再資源化への取組の強化	<p>環境に負荷の少ない循環型社会の構築のため、レジ袋削減推進事業や地球にやさしいオフィス・店登録制度など、ごみの減量化・再利用・再資源化への取組の強化を図るとともに、市民の環境保全への理解と取組の意欲を高めるため、啓発事業や環境教育・学習などの充実を図られたい。</p>	環境部	環境保全推進課	<p>レジ袋削減推進事業については、平成20年12月1日に、市内のスーパー等の11事業者、6市民団体、市の3者で、「レジ袋等の削減に関する協定」を締結し、協働してレジ袋等の削減に取り組んでいるところであり、今後とも、協定締結事業者の拡充を図るとともに、レジ袋削減キャンペーンの実施など周知・啓発に努め、取組の強化を図っていきたく考えています。</p> <p>地球にやさしいオフィス・店登録制度については、平成21年度に登録制度の見直しを行い、新しい制度により、合併地区を含め募集を行っているところであり、今後とも、オフィス・店の登録拡大を積極的に推進していきたく考えています。</p> <p>環境保全への理解と、取組の意欲を高めるための啓発事業や環境教育・学習などの充実については、環境プラザを中心に、自主講座の開催や要望に応じた出前講座を実施しているところであり、今後とも、環境関連団体との連携を図りながら、内容の充実を図っていきたく考えています。</p>
牟礼地区	5	公園への健康遊具の設置	<p>牟礼地区内の街区公園や近隣公園、また、いわゆる自治会公園などに、子ども向けの遊具が数多く設置されているが、少子高齢化時代の今日、子ども向けの遊具とともに、遊ぶのではなく、体を伸ばしたり、筋力をつけたりする健康維持を目的とした高齢者向けの健康遊具の設置もされたい。</p>	都市整備部	公園緑地課	<p>本市では、無理なく運動できる健康維持補助施設として、現在整備を進めている東部運動公園や、最近完成した松縄流石中央公園等比較的大きな近隣公園に高齢者向けの健康遊具を設置しているほか、今後整備を進める木太中央公園等比較的大きな公園に設置または設置を予定しているところでもあります。</p> <p>牟礼地区におきましても、昨年7月に供用した房前公園に設置しております。</p> <p>本市といたしましては、今後とも新設の近隣公園等比較的大きな公園に健康遊具を設置していく予定としておりますが、現在、230箇所あります市内の街区公園への健康遊具の設置につきましては、遊具等公園の再整備を図る中で、地元の見解をお聴きしながら検討してまいりたいと存じます。</p>

合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：牟礼

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応方針
牟礼地区	6	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	<p>牟礼地区では、合併を機に、いち早く総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、早や3年が経過したが、4年目の今年、行政による事務局員はいなくなり、現在では、行政指導の下、「むれスポーツクラブ」が独自に事務局員を雇用し、資金を会費の中から捻出している状況である。</p> <p>このようなことでは、これから総合型地域スポーツクラブを各地域で立ち上げようとする際、現在、活動している地区体協や市体協より、運営面や資金面で不自由、不便等を感じ、流れに逆行するものである。</p> <p>香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が設立され、いよいよ香川県としても全国につながるネットワークが強化されてきた。</p> <p>高松市も県都としてのリーダー的見地に立ち、スポーツの振興と普及、健康増進の担い手となる総合型地域スポーツクラブの立ち上げと育成に関し、もっと積極的な支援をされたい。</p>	市民政策部	スポーツ振興課	<p>総合型地域スポーツクラブは、地域の人たちが、それぞれの体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでも、スポーツに親しめる「生涯スポーツ社会」の実現を目指し、子どもから高齢者までが身近な場所でスポーツを楽しめるよう、地域の人たちが自主的・主体的に運営するスポーツクラブです。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの育成を支援するため、香川県広域スポーツセンターが設置され、普及啓発、人材育成、指導助言、情報提供などを行うとともに、スポーツ振興くじ助成事業を活用し、創設支援事業、活動支援事業、活動事業を行っております。</p> <p>本市といたしましては、同センターと相互に連携を図りながら、クラブの設立育成を支援することとしておりまして、現在、市内の8つの総合型地域スポーツクラブに対して、本市は運営面や資金面で支援を行っておらず、今後とも、総合型地域スポーツクラブの趣旨にのっとり、事務局の体制も含め、自主的・主体的な運営を行っていただきたいと考えています。</p> <p>なお、市体育協会が、市内のクラブ間の連携を図るため、懇談会や普及のための講演会、ニュースポーツにかかる道具代への支援などの側面的支援を行っており、今後とも、効果的な支援策を検討してまいります。</p>
牟礼地区	7	牟礼町大町川東地区の八栗新道交差点の改良	<p>牟礼町大町川東地区の八栗新道交差点は、国道11号を挟んで、両側にJR高徳線、琴電志度線が平行に走っており、この交差点の北側は、県道八栗原線、市道川東北部線が琴電八栗新道踏切で連結し、南側は、市道宮の前川原線がJR高徳線八栗新道踏切で連結されるという複雑な構造となっている。また、国道11号は、片側1車線で右折レーンも無い。</p> <p>このような道路構造が、交通渋滞や交通事故を引き起こす原因の一つと考えられる。最近、死亡事故が発生した場所でもあるので、早急に関係機関と連携し、交差点改良について検討されたい。</p>	都市整備部	道路課	<p>八栗新道交差点における交通事故につきまして、県警に問い合わせましたところ、この事故の原因は人為的操作ミスによるものと伺っております。</p> <p>また、国によりますと、本交差点は、国道の両側に琴電とJRが平行して通っており、用地に制限があることから、交差点改良は難しいと伺っております。</p> <p>しかしながら、安全性確保を図るため、地元市議会議員の御協力により、現在、歩道の整備を行っているところであります。</p> <p>また、国・県警において、この交差点のより一層の安全性を確保するため協議が行われており、安全施設の路面表示や信号機のLED化について検討していると伺っております。</p>
牟礼地区	8	新コミュニティセンターの建設に伴う、今後の牟礼公民館の活用についての検討	<p>新コミュニティセンターが現牟礼支所地内に建設されることと、大町公民館がコミュニティセンターへ移行されることに伴い、今後、牟礼公民館をどのような形で活用していく考えなのか。</p> <p>牟礼公民館は、図書館やホールを併設した大規模な施設であり、牟礼地区住民にとっては、地域活性化やまちづくりのシンボリック拠点であるので、平成24年度以後の牟礼公民館の活用については、広く牟礼地区住民の意見を聞いた上での検討を行われたい。</p> <p>また、牟礼公民館は、耐震化や施設改修の計画もあると聞いているが、平成24年度以後の牟礼公民館の活用について、十分検討した上で、耐震化や施設改修を行われたい。</p>	教育部 市民政策部	生涯学習課 地域政策課	<p>牟礼公民館・牟礼図書館は、大勢の市民の方に利用されており、また、災害時等の避難場所にも指定されていることから、現在、建物の耐震化の設計を行っており、平成22年度に耐震化工事を行う予定としております。牟礼支所が、新たに支所やコミュニティセンター等を一体化した施設として建て替えられるまでは、公民館としての機能は存続します。なお、コミュニティセンター発足後、公民館としての役割は終えますが、建物につきましては、地域の生涯学習の拠点施設として、図書館機能の充実が図られるよう、検討してまいりたいと存じます。</p>